



(左上)フロア内の人密度や空気質を見える化し、入館前に安心感を与えるエントランス (右上)人の密状態などがわかるサインエッジが設けられたフリーアドレスのワークプレイス
(左下)天井のルーバーからのダウンフロー気流によりエアロゾル滞留を抑制するエアリーゾリューション (右下)人の増減に応じてタイムリーにフロア全体の換気量を制御している執務ゾーン



『人起点』の空間価値創出をめざした『働く』を実験するライブオフィス

オフィスの価値が再認識される流れを受け、パナソニックは、ニューノーマル時代のワークプレイス創造に向けて“『働く』を実験する”をテーマとしたライブオフィス「worXlab」を、パナソニック東京汐留ビル内に開設。いきいきと健やかに働けるウェルネス環境を提供し続けることで、企業の持続的発展に貢献し、『人起点』の空間価値を創出することをめざす。

ここでは、センターオフィスに求められる機能を『安全』『交流』『集中』『回復』の4つのテーマに設定。各テーマに基づいたソリューションをオフィスフロアに点在させ、多様化する働き方をサポートする。また、ニューノーマル時代を見据えて、改修工事だけで実装可能な新しい空気環境にも取り組んでいる。換気量増加のニーズに容易に対応できる、後付けの熱交換気ユニット床置形を設置。センシングにより人の増減を判断してスピーディに換気量を調整し、ダウンフロー気流によりエアロゾルの滞留を抑制するとともに、会議室では湿度を重視した空調に加えて次亜塩素酸による除菌も行。約800m²のフロアには、位置情報ソリューション「POSITUS」をはじめ、200個以上のセンサデバイスを実装。空間のCO₂濃度や温湿度などの環境データ、機器の稼働状況などの設備データを取得・解析し、サイネージやスマートフォンによって可視化している。さらに、バイタルセンシングや位置情報、会話量などのヒトデータを取得・解析して『人起点』で空間を最適化し、そのデータを効率的な施設管理・運営に活用する。

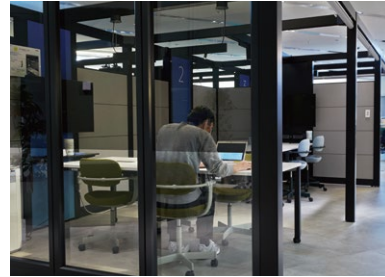
今後、「worXlab」を、さまざまなパートナーとの共創の場として活用し、アップデート型のワークプレイス空間を実現する役割も併せ持つ。

2021年3月には、感染症や災害などの緊急事態対策に特化したWELL認証「WELL Health-Safety Rating」を取得。特に熱交換気やダウンフローによる気流制御など空気清浄度の高い空間実現の取り組みが評価された。

worXlab (ワークスラボ)

■オフィス・リノベーション工事

所在地 東京都港区東新橋
 事業主 パナソニック株式会社
 コンサルティング/シービーアールイー株式会社(シナリオ協力)
 内装デザイン・設計・施工 株式会社ドラフト
 内装工事 株式会社乃村工務社(1602会議室、エア機器)
 電気・空調工事 パナソニックファシリティーズ株式会社、パナソニックLSエンジニアリング株式会社
 開設 2020年12月



外からディスプレイ映像を見えなくする偏光フィルムを採用したパーティション



映像出力ができる透明有機ELパネルが設けられたミーティングエリア

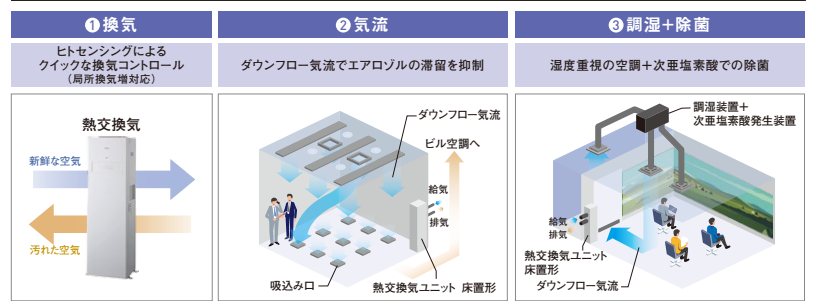


ブースごとに理想、集中持続、音声認識などを実証実験中

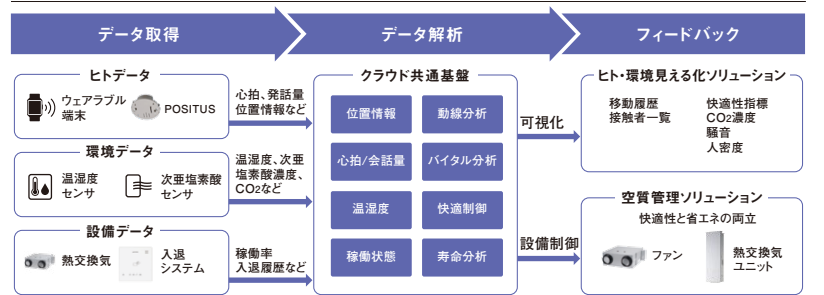


オフィスのヒト・環境・設備データを集中監視し、情報をPCやサイネージに提供

『人起点』の空気質コントロール



アップデート型ワークプレイス



主な設備

- LEDベースライト
- プロジェクター
- 顔認証入退セキュリティ&オフィス可視化システム「KPAS」
- エアリーソリューション
- 熱交換気ユニット
- ヒト・環境見える化ソリューション
- 快適制御
- 寿命分析
- フレキシブルゾーニングソリューション

ウェブサイトでも
ご覧いただけます



◀ (上) 光・空気・音・香り・映像で没入感のある環境をつくり短時間で気分転換を促す
 (下) サテライトオフィスと大画面で繋ぐこともできるプレゼンテーションエリア